井伊直虎と徳川家康

Ii Naotora and Tokugawa Ieyasu

ここ浜松の地で、歴史が動きだした！

井の国

出世の街

徳川家康

「男」として戦乱の世の表舞台に立ち、井伊家と領民を守った女城主

井伊直虎

「次郎法師と虎松」©光山房

徳川四天王の一人 彦根藩の初代藩主

井伊直政（虎松）

初代浜松城主・江戸幕府の創始者

年不明●井伊直盛の娘（井伊直虎）誕生
1544●許婚亀之丞（井伊直親）の父・直満、叔父・直義、今川氏に誅殺
1545●亀之丞、信州・松源寺に逃れる
年不明●亀之丞が突然いなくなり、井伊直盛の娘（井伊直虎）出家。出家名：次郎法師
1555●亀之丞、井伊谷に帰り、井伊直親と名乗る
1560●桶狭間の合戦で、直盛が戦死
1561●直親の子、虎松（井伊直政）生まれる
1562●直親、今川氏により遠州掛川にて誅殺
1565●次郎法師、井伊直虎と名乗る
女地頭／女城主として、虎松を後見
1568●井伊家家老小野但馬守に井伊領が横領される
●虎松、三河・鳳来寺に逃れる
1569●徳川家康、遠州へ侵攻。戦国大名 今川氏滅亡
1570●徳川家康、引間城を拡大し、浜松城を築城
1572●三方ヶ原合戦。武田信玄が遠州に侵攻し、家康は大敗
1575●頭陀寺・松下一族の養子となっていた15歳の虎松、徳川家康に出仕
1582●本能寺の変。家康の伊賀越えで直政が活躍
●直虎没

井伊直虎と井伊直政、徳川家康

井伊直虎（幼名・生年不明）は、井伊家22代当主・井伊直盛の一人娘として生まれました。桶狭間の戦いにより父・直盛を失うなど、井伊家の男が次々と戦死・殺害される中、後見人として幼少の直政を養育しつつ、女城主として井伊家を断絶の危機から救いました。龍潭寺で出家した際は「次郎法師」と名乗っていました。

井伊直政（幼名・虎松）は、直虎の元許婚である23代当主直親の息子として生まれ、15歳の時、浜松城で徳川家康の小姓として仕えます。本能寺の変で明智光秀軍に追われた徳川家康を助けるなど、数々の武功を挙げ、徳川四天王にまで出世します。その勇猛果敢なスタイルから「井伊の赤鬼」と恐れられ、彦根藩35万石の礎を築きました。

※徳川四天王：徳川家康の側近として仕え、江戸幕府樹立に多大な貢献をした四武将。井伊直政のほか、酒井忠次、本多忠勝、榊原康政。

Ii Naotora, Ii Naomasa and Tokugawa Ieyasu

Ii Naotora was the only daughter of the 22nd head of the Ii Clan, Ii Naomori. Her date of birth and childhood name are unknown. At a time when the men of the Ii Clan were falling one after another, either in battle or from being murdered, she saved the Clan from the crisis threatening its very existence. She did this by becoming the Female Lord of the Castle and raising the last heir, Naomasa. Naomasa was the son of Naotora's former fiancé, Naochika, the 23rd head of the Clan. When Naomasa was 15 years old, he became Tokugawa Ieyasu's page at Hamamatsu Castle. After that, he had many successes and became one of the Four Heavenly Kings of the Tokugawa (accomplished and famous generals).